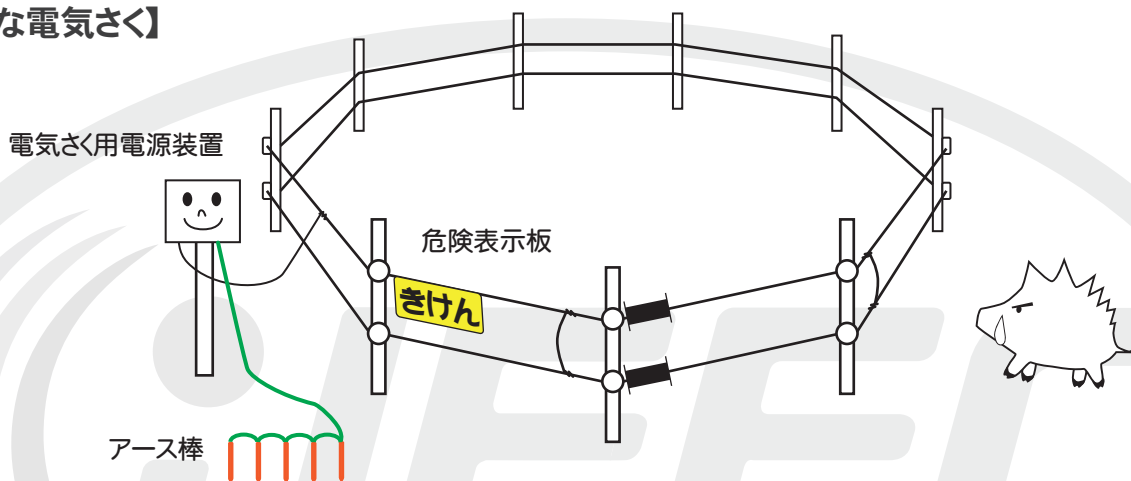


< 電気さくの適切な使い方 >

【基本的な電気さく】

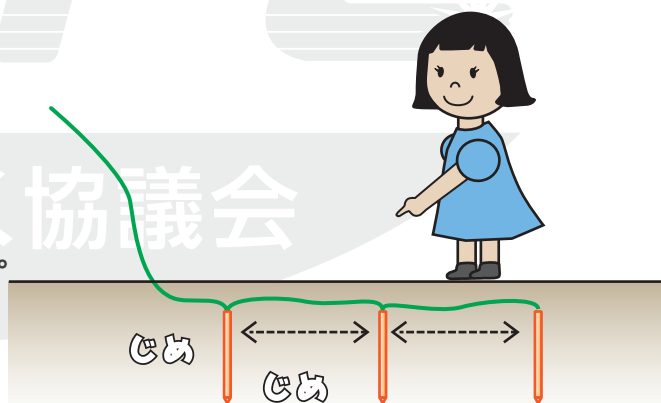


①アース

アース棒はメーカー指定のものを使用してください。

- 1) できるだけ湿気の多いところに埋設してください。
- 2) アース棒の頭が見えなくなるまで打込んでください。
- 3) アース棒の間隔はできるだけ離してください。
- 4) アース棒の連結線はできるだけ土の中に埋めてください。

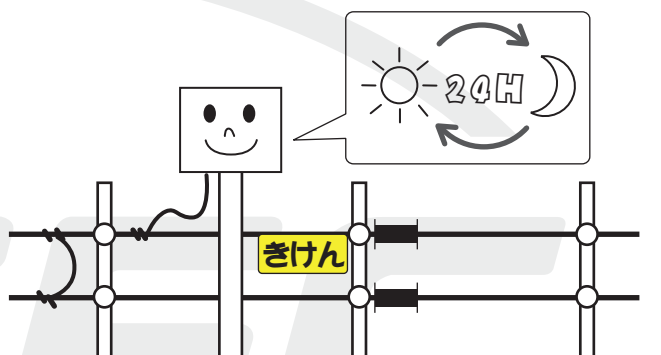
注) 土質の状況によって、本数を増やすことがあります。



②24時間通電

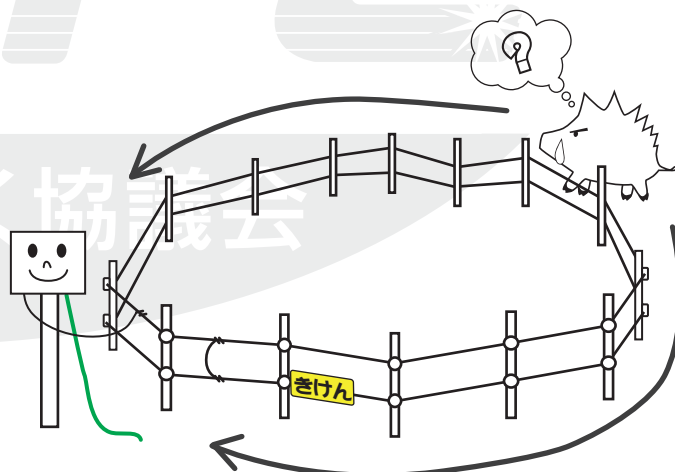
電気さくは設置後、できるだけ24時間通電することをお勧めします。夜間を中心に出没する動物もありますが、シカやイノシシについては、ひと気がなければ昼間も農地にやって来ます。

ご使用中は必ず危険表示板を設置してください。



③全周を囲む

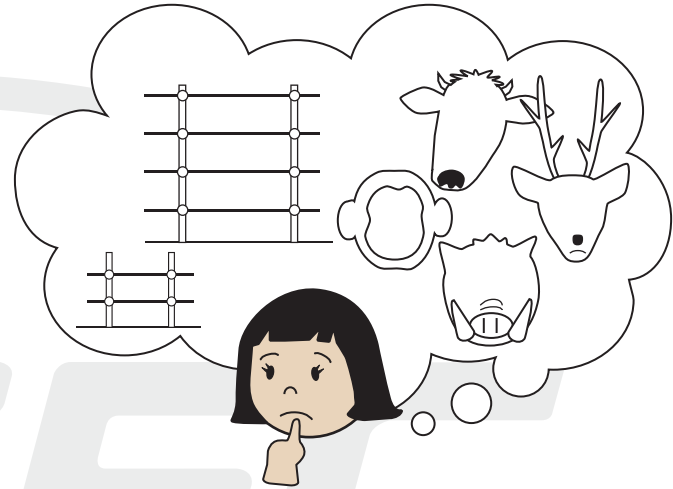
野生動物は侵入可能な場所を探しながら柵沿いに移動します。きちんと囲むことが基本です。



④対象動物に合ったワイヤーの高さ、段数

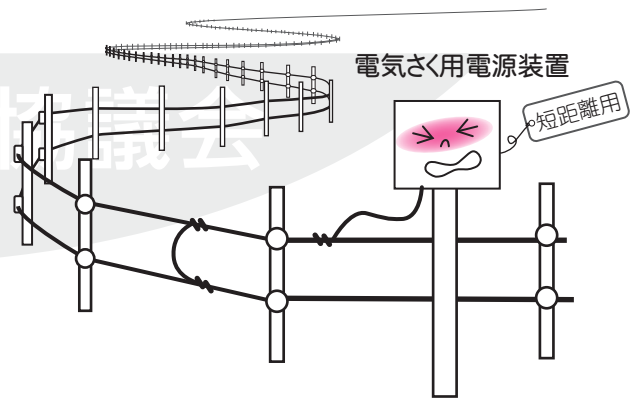
対象動物に合った電気さくの高さ（間隔）や段数で設置してください。

不要な設置は、電気さくの電圧低下やコスト増の原因になります。



⑤設置条件に見合った電気さく用電源装置

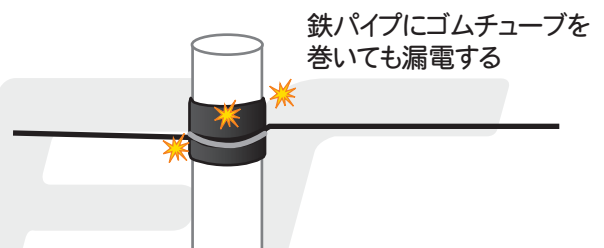
電気さく用電源装置は、設置する距離に見合った機種を使います。また同じ機種でも使用するさく線の種類等によって設置距離が変わりますのでご注意ください。



⑥絶縁のできる資材

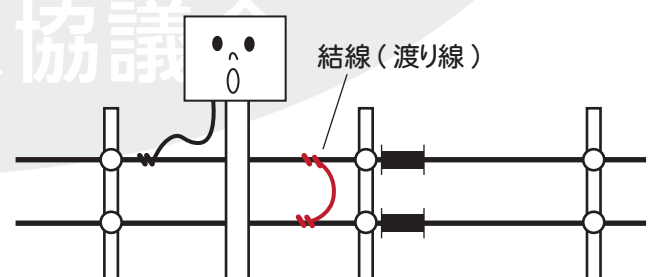
グラスファイバーや樹脂製の絶縁性がよい支柱を使用するか、鋼管（樹脂被覆したものを含む）を使用するときは、必ずガイシを使ってください。ゴムチューブやビニールテープでは漏電の原因になります。

<悪い例>



⑦上下線の連結

電気さく用電源装置の近くや、ゲート周りでは上下線を渡り線で連結してください。



⑧ さく線の結束

つなぎ合わせるさく線同士の金属部分が確実に接触するように結ぶか、結束用の金具をご使用ください。

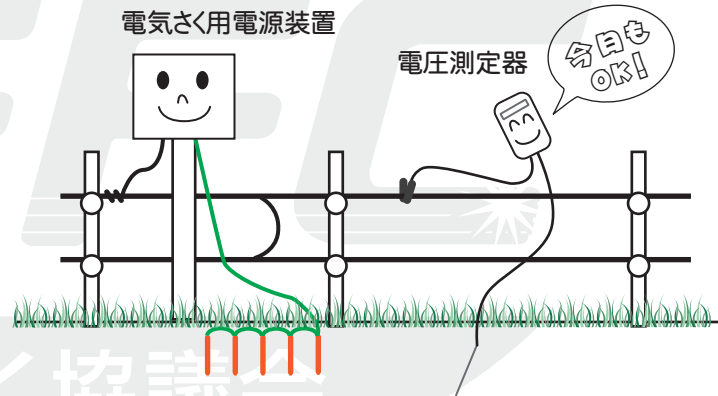
<悪い例>

結び目や巻き付け部分にすきまがある



⑨ 電圧の管理

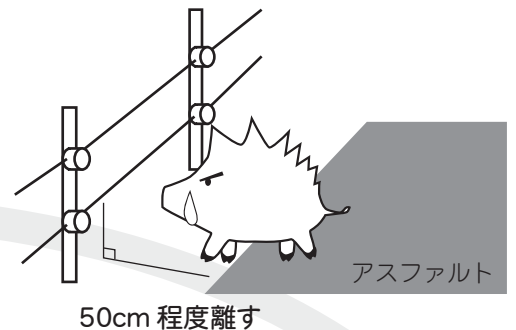
さく線が埋もれるくらい草が伸びると漏電の原因となります。毎日電圧のチェックを行い、電圧が低下した場合はすぐに原因を除去しましょう。



日本電気さく協議会

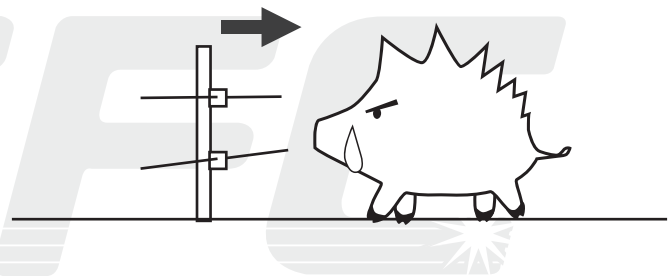
⑩ 舗装された場所付近の設置

アスファルトやコンクリート、石が多い場所は電気を通しにくくなっています。電気さくは動物の四足のうち一足でも土の上となる場所に設置しましょう。



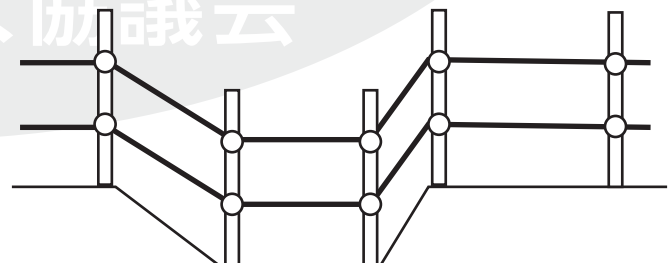
⑪ ワイヤー・ガイシの向き

動物がより触れやすいよう、ガイシは動物側に向けましょう。



⑫ くぼみ対策

潜り抜けられないよう、最下段の高さを維持する工夫が必要です。地面の凹凸や段差などの地形に合わせた設置をしましょう。

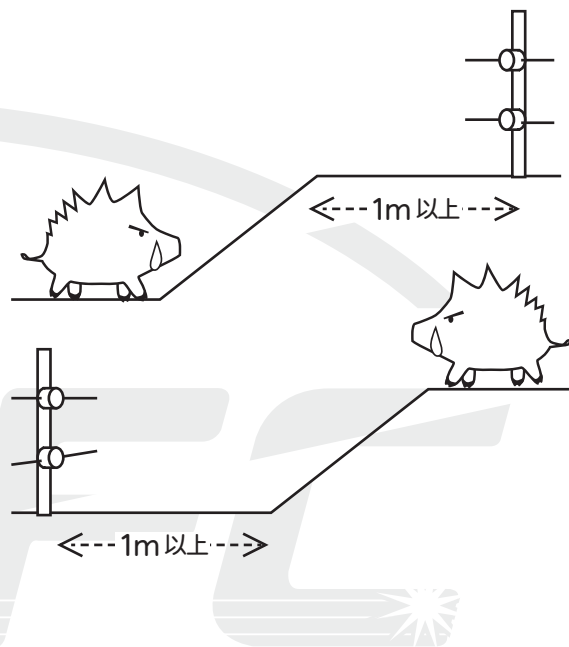


日本電気さく協議会

⑬ 斜面そばの設置

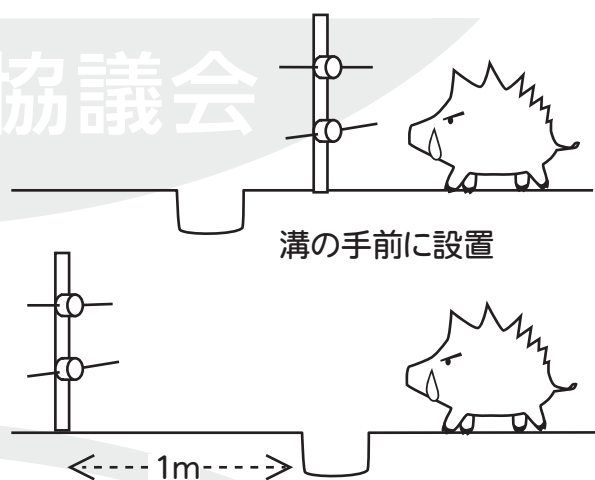
できれば斜面下や斜面上から 1m 程度離れた位置に設置しましょう。勢い余って電気さくを突破してしまう可能性があります。また電気さく外周にスペースを設けることで管理がしやすくなります。

やむを得ず斜面に設置する場合は、斜面に対し垂直になるように電気さくを設置します。



⑭ 溝 (U字溝など) そばの設置

溝から 1m 程度農地寄り、もしくは溝の手前 (動物側) に設置しましょう。⑬と同様に、飛び越えた勢いで突破する可能性があります。



日本電気さく協議会